



エコアクション21
認証・登録番号0001386

H27 環境活動レポート

対象期間(H27.1月~H27.12月)

作成日:H28年2月3日

Yes! エコアクション21





■会社概要

- 事業所名 株式会社ミヤジマ
- 代表者 代表取締役 宮嶋 誠一郎 (S37年生)
- 所在地 滋賀県犬上郡多賀町多賀1008
- 設立 昭和31年(1956年)12月20日
- 資本金 10,000千円
- 従業員数 男:35名 女:4名 計:39名 (平均年齢37歳)



- 事業内容 シヤフト形状部品の据込み鍛造、熱処理、機械加工及び販売
- 製法特許 宮嶋式弁棒鍛造装置(特許No209965号)
- 主要製品名
 - ・水道用・船舶用等ゲートバルブの弁棒
 - ・建設機械、農業機械などのミッションの駆動軸
 - ・工作機械・繊維機械・印刷機械など各種機械のスピンデル
 - ・重電設備のシヤフト形状導電部品(銅、アルミ)



■EA21対象範囲 **全社**でEA21を推進しています

■事業の規模

活動規模	単位	H24年	H25年	H26年	H27年
生産高	t	5023	4971	5213	4104
売上高	百万円	1159	1081	1235	1041
従業員	人	35	35	36	39
敷地面積	m ²	11160	11160	11160	11160
建物面積	m ²	2997	2997	2997	2997

■環境管理責任者 及び 連絡先

環境管理責任者 : 綿谷雄吾

連絡先 : TEL 0749-48-0571 FAX 0749-48-1478 E-mail post@miyajima-jp.com



■環境方針

わたしたちは、日本の鍛造メーカーとして、
社会のルールと地域の自然を守ります。

具体的取り組み

1. 廃棄物は、「正しく」分別し、「正しく」処分します。
2. 「削りだすのはもったいない」の言葉の通り、
金属だけでなく、あらゆる資源を大切に節約します。
3. 二酸化炭素排出削減の努力をします。
4. 環境関連の法規制を遵守します。
5. グリーン購入を推進します。
6. 化学物質は微量でも把握し、削減します。
7. 社員一人一人が社会のお手本となれるよう努力します。

平成23年2月28日

代表取締役社長

宮嶋 誠一郎



■H27年度 環境目標 及び 具体的手段、取組結果の評価

中間目標:H29年までに二酸化炭素排出量**3%減**

環境目標(H27度)	具体的手段	取組結果の評価	次年度取組
1.廃棄物排出量の削減 目標値： 循環率80%	廃油、汚泥の分別、 回収方法の見直し	H22. 4月に見直し済	前年度と同じ
	裏紙使用、両面 コピーの促進	H18年より実施	
	雑誌、新聞、ダンボール のリサイクル化	毎週末にリサイクル業者へ持ち込み	
2.環境配慮製品の拡大	新規アイテムの獲得	576アイテム獲得	前年度と同じ
水使用量の削減 目標値： 対前年比1%削減 (1トンあたりの排出量)	水漏れ箇所の修理	TPMIにてポンプの水漏れなど修理実施。手 洗い時の節水は都度呼びかけ。上水・地下水 使用量を毎月揭示。	前年度と同じ
	手洗い時の節水推進		
	水使用量(上水・地下水) の把握		
3.二酸化炭素排出量の削減 目標値： 対前年比1%削減 (1トンあたりの排出量)	スライド勤務・昼休憩の稼 働(鍛造・熱処理・金型)	H18年度より導入	前年度と同じ
	空冷焼入れの本格導入	H20年度より導入	
	アイドリングストップ	朝礼などで随時呼びかけ	
	事務所の冷暖房28度化	事務所内28度化実施	
	外段取りによる 段取り時間の短縮	30分⇒26分に短縮	
	高機能型デマンド コントローラ導入	H22年12月に導入済み	
	重油炉→IHヒーター	H28年導入予定	
5.グリーン購入推進	随時呼びかけ	紙類100%達成	前年度と同じ
6.化学物質の把握と削減	化学物質の把握	対象物質使用無し	前年度と同じ
	7.社員の環境教育の推進	防災訓練実施	4月9実施済み
	環境DAYの制定	月末は社員で周辺清掃 油水分離槽の日常点検ルール化	
地域の環境保全活動の推進	地域環境保全活動へ の積極的参加	5月29多賀町ゴミゼロ運動参加	前年度と同じ



環境実績

項目	単位	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年			H28年
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	目標	実績	達成率	目標
生産量	t	1648	4388	5949	5023	4971	5213	-	4104	-	-
二酸化炭素排出量 ※排出係数は 0.378で算出	Kg-CO ₂	706815	1247477	1437863	1239791	1410507	1469062	対前年比 1%減	1269645	-	前年比 1%減
	1tあたりの排出量	429	284	242	247	284	282	281	309	91%	301
廃棄物排出量	総排出量t	58	110	113	122	182	198	-	161	-	-
	内循環資源量	50	106	107	115	160.3	189	循環率	158	-	循環率
	循環率	86%	96%	95%	94%	88%	95%	80%	98%	123%	80%
水資源投入量	①上水(m ³)	323	1329	2795	1190	1615	2825	-	1926	-	前年比 1%減
	②地下水(m ³)	4406	8978	10961	6407	9790	5342	-	4509	-	-
	合計(①+②)	4729	10307	13756	7597	11405	8167	対前年比 1%減	6435	-	-
	1tあたりの投入量	2.87	2.35	2.31	1.51	2.29	1.57	1.55	1.57	99%	1.55

●二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量の約67%が電力消費であり、主な用途としては、
①鉄鋼材料を加熱する加熱炉②熱処理の炉での消費がほとんどである。

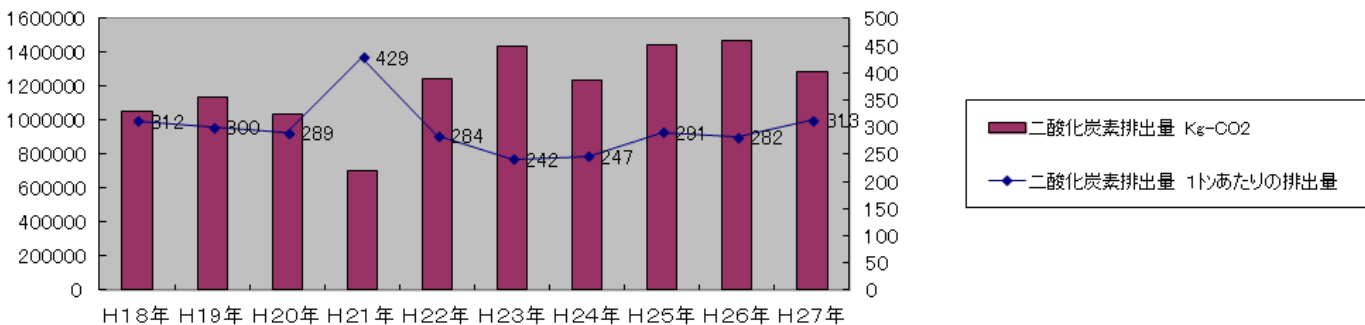
電力以外では、A重油が約27%。主な用途は①鉄鋼材料を加熱する重油炉②発電機である。

その他化石燃料(灯油、LPG、ガソリン、軽油)が約6%。

1tあたりの排出量はH24年度と比較し、横ばいであった。

生産量はH26年より約22%減。生産量減ると効率が悪くなり、電気効率等が落ちる傾向にあるが、排出量は約14%減と1t当たりの排出量は増加傾向にある。

二酸化炭素排出量



●廃棄物排出量

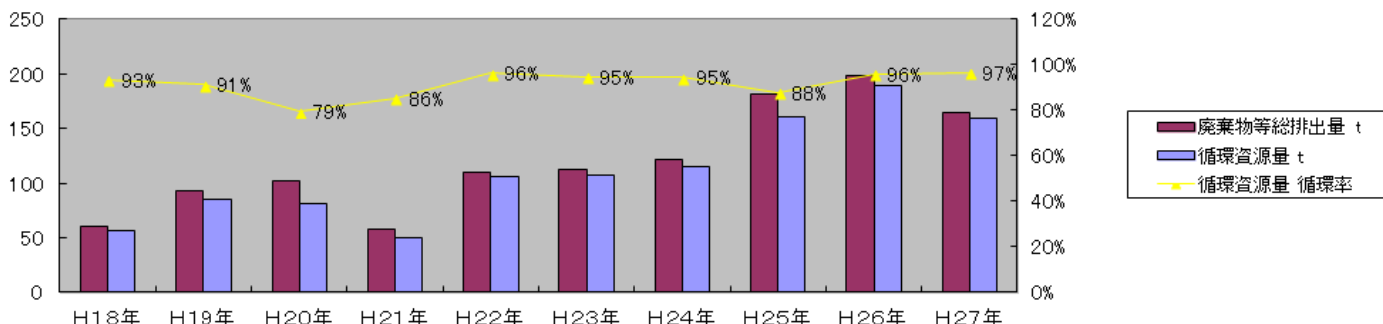
分類を大きく分けると①可燃ゴミ(紙・新聞・ダンボールを含む)②かん・ビン③金属くず④汚泥(スラッジ)⑤廃油の5つとなる。

①可燃ゴミは2.6t ②かん・ビン・ペットボトル0.91t ③金属くずは158t、④汚泥0t、⑤がれき類0t、⑥廃油は再生利用は0t、単純焼却は3.5tであった。

有害産業廃棄物はなし。

循環率はスラッジや廃油等の産廃処理もなかったため、97%と好循環率をキープできた。

廃棄物量



●水資源投入量

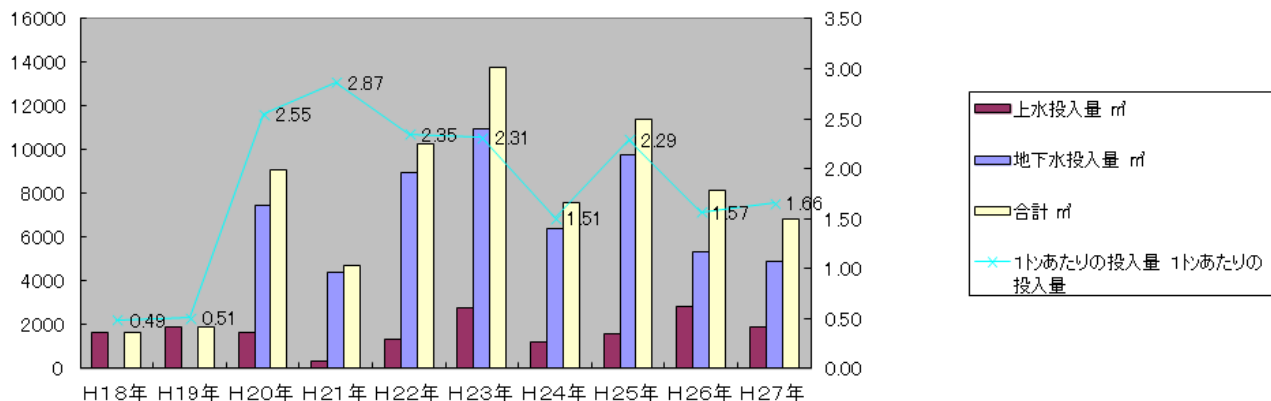
当社上水の主用途は、金型冷却・飲料水・手洗いの水などであるが、通常金型冷却は地下水を使用しており、地下水では供給が追い付かない場合のみ上水で補充する仕組みとなっている。

H25年度より新水源にもメーターを設置し、使用量を把握しており、

結果、生産量減により、昨年より使用量減となった。

排水については、機械類で使用すると自然乾燥する為、実際排水はほとんどない。排水しているのは手洗いの水や便所の下水などのみとなっている。

水資源投入量



●グリーン購入について



すでに事務用品、車両、作業服等グリーン購入を実施しています。



■ 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価結果並び違反、訴訟等の有無

過去5年間、環境関連法規(騒音規制法、振動規制法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法)にて、遵守評価を行っており、結果問題なし。

2007年9月9日重油流出事故以来、外部からの指摘、訴訟もなし。

法令の名称	遵守評価の内容
騒音規制法	騒音規制基準の順守、特定施設の届出
振動規制法	振動規制基準の順守、特定施設の届出
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止統括者、公害防止管理者の届出
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理、マニフェスト管理、委託契約書管理
消防法	危険物貯蔵所の設置届出
大気汚染防止法	特定施設の届出
水質汚濁防止法	水質規制基準の順守、特定施設の届出

2015. 2. 25

2015. 4. 9

防災訓練実施



↑ 消火訓練



↑ 消火器訓練

2015. 7. 12

琵琶湖清掃活動参加



Yes! エコアクション21



■代表者による全体の評価と見直しの結果

EA21環境レポート2015 社長コメント 2016. 2. 3

「天災は忘れたころにやってくる」という格言があるように、油断していると思いがけない災害につながります。

よって

①防災訓練を定期的に行い、いざという時に備える。

②他社の災害事例を時々紹介し、気を引き締める。

の2点を常に心がけてください。

また、以前から言っている事ですがEA21の活動はISO9001の活動に比べるとまだまだ社内周知が不十分です。

どのような活動をしているか、機会を作って皆に説明してください。